

引き渡し訓練の実施

・重大な災害を想定した、小中合同引き渡し訓練を4年ぶりに実施。

※昨年度は計画されたが、天候不良により中止

・災害時の避難の仕方やどう行動すべきかの確認ができた。

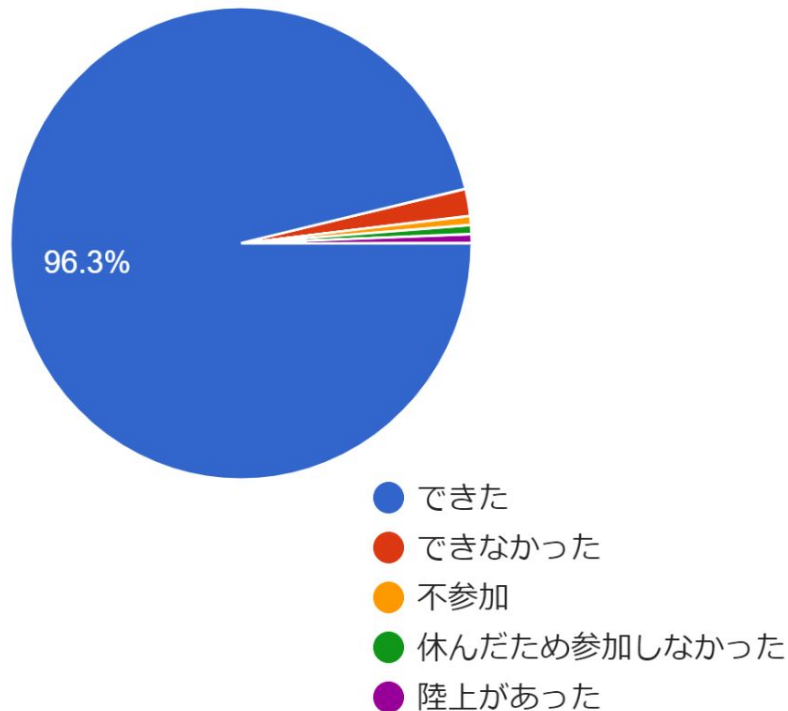
・小中学校の連携を図り、児童生徒の安全確保と引き渡しカードを使った、保護者への引き渡しの方法がスムーズに行えるか確認することができた。

・緊急時における情報の在り方についての確認ができた。【デジタル連絡ツールスクリレの活用】

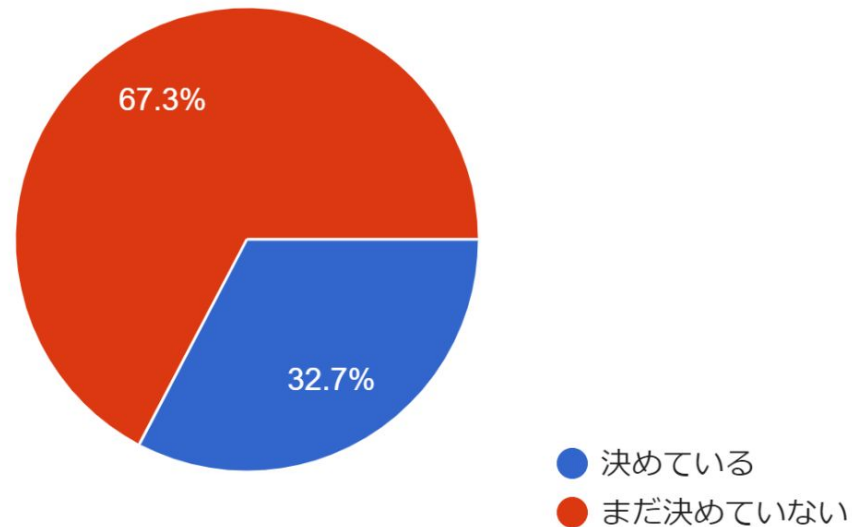


引き渡し訓練事後アンケート

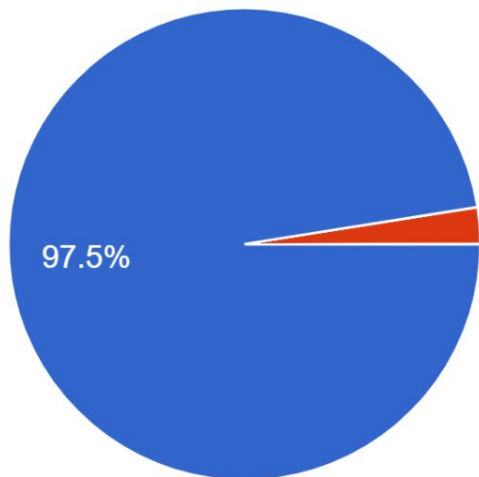
災害時に頭を守るシェイクアウト(まず低く、頭を守り、動かない)について理解できましたか？



災害時に家族と合流する場所を決めていますか？



今回の訓練は、災害にあったとき、自分の身を守るためにどういった行動をとればよいかを考えるきっかけになりましたか？



- 考えるきっかけになった。
- 考えるきっかけにならなかった。

生徒の感想より

- ・いつ地震が来てもいいようにこのような訓練を集中して取り組みたいです。
- ・改めて地震の危険性を知った
- ・早うちに家族との合流地点を決めたいです。
- ・早く移動して待てたと思うのでよかった。でも、ゆっくり歩いてきてる人がいて、歩くのはいいけど、危機感がないんじゃないかなと思ってしまった。
- ・実際の災害(地震)では、正しく判断できないかもしれないけれど、身を守るための行動をしっかりとできるよう、意識したいと思った。
- ・校長先生が話しておられた、青森県の中学校のように、ここは津波は来ないけど、自分達で判断して逃げたり、小学生や高齢者などの自分より弱い人たちを助けたりできたらとても良いと思ったし、できるようになりたい、なっておきたいと思った。
- ・今回の避難訓練を通して、学校の外に出るための経路を知ったり素早く隠れることの大切さを知ったりすることができた。本当に地震が来た時も今日のように落ち着いて行動できるようにしたい。